

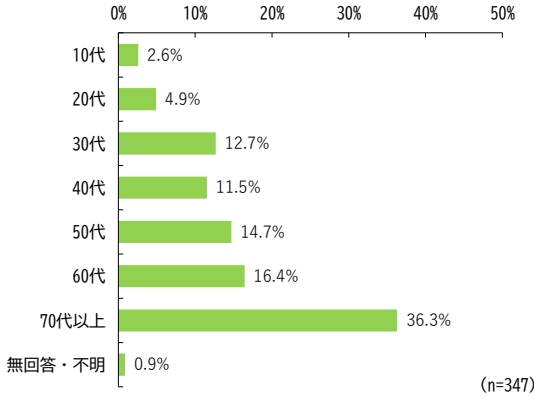
地球温暖化防止に関するアンケート結果【住民】

【対 象】 播磨町内在住の住民 1,000世帯（無作為抽出）
【調査方法】 郵送方式（料金受取人払いの返信用封筒を添えて郵送）またはWEB回答
【調査期間】 2025年7月28日（月）～8月22日（金）
【回収状況】 配布：1,000通 有効回収票：347通（紙：283通、WEB：64通） ⇒ 有効回収率：35%

1.あなたご自身のことについて

問1-1. あなたのご年齢について、あてはまるものを1つ選んでください。

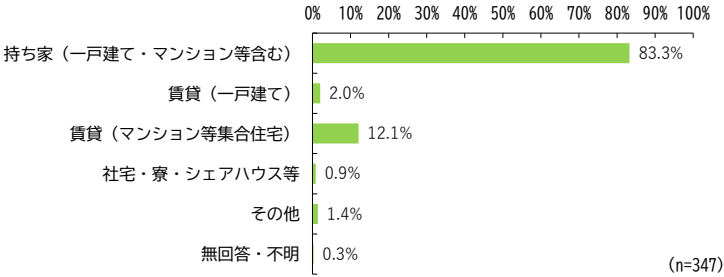
選択肢	回答数
10代	9
20代	17
30代	44
40代	40
50代	51
60代	57
70代以上	126
無回答・不明	3
合計	347



回答者の年齢は「70代以上」が最も多く36.3%であった。次いで「60代」が16.4%、「20代以下」は10%未満となっている。

問1-2. あなたの居住形態について、あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数
持ち家（一戸建て・マンション等含む）	289
賃貸（一戸建て）	7
賃貸（マンション等集合住宅）	42
社宅・寮・シェアハウス等	3
その他	5
無回答・不明	1
合計	347

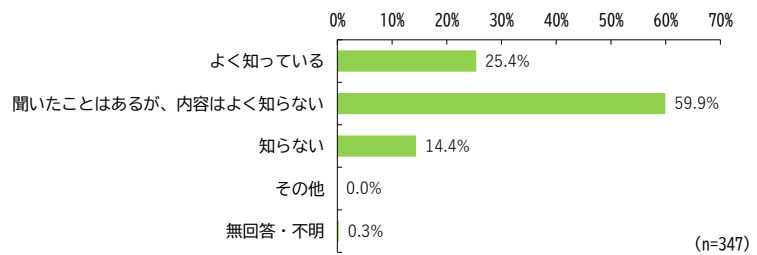


居住形態は「持ち家（一戸建て・マンション等含む）」が最も多く83.3%を占めている。次いで「賃貸（マンション等集合住宅）」が12.1%、「賃貸（一戸建て）」「社宅・寮・シェアハウス等」が5%未満となっている。

2.地球温暖化・カーボンニュートラルに関する認知度・理解度

問2.「カーボンニュートラル」という言葉を知っていますか？あてはまるものを1つ選んでください。

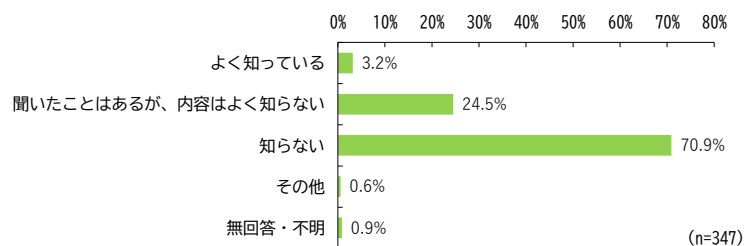
選択肢	回答数
よく知っている	88
聞いたことはあるが、内容はよく知らない	208
知らない	50
その他	0
無回答・不明	1
合計	347



「カーボンニュートラル」に対する認知度については「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が最も多く59.9%となっている。次いで「よく知っている」が25.4%となっている。町のカーボンニュートラル達成を後押しするための情報提供や意識啓発を実施していく必要がある。

問3.「デコ活」という言葉を知っていますか？あてはまるものを1つ選んでください。

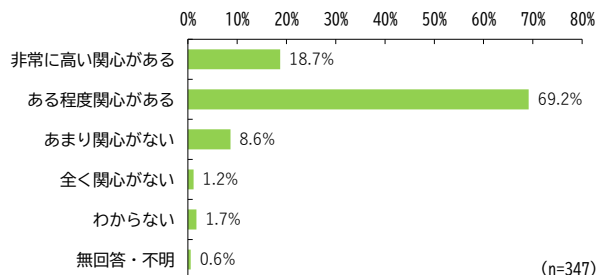
選択肢	回答数
よく知っている	11
聞いたことはあるが、内容はよく知らない	85
知らない	246
その他	2
無回答・不明	3
合計	347



「デコ活」に対する認知度については「知らない」が最も多く70.9%となっている。次いで「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が24.5%となっている。本町もデコ活を推進していくため、デコ活における取組内容や取組効果など情報提供や意識啓発を実施していく必要がある。

問4. 地球温暖化問題について、どの程度関心がありますか？あてはまるものを1つ選んでください。

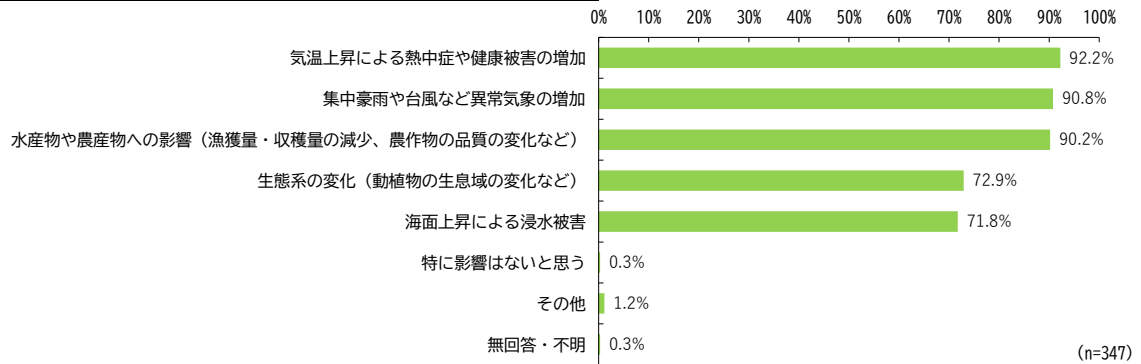
選択肢	回答数
非常に高い関心がある	65
ある程度関心がある	240
あまり関心がない	30
全く関心がない	4
わからない	6
無回答・不明	2
合計	347



地球温暖化問題への関心については「ある程度関心がある」が最も多く69.2%となっている。次いで「非常に高い関心がある」が18.7%となっていることから、約8割以上は地球温暖化問題について関心を抱いているため、気温の上昇などの気候変動状況、国や県の動向など情報提供を行うとともに、本計画策定後は計画内容を周知して行く必要がある。

問5. 地球温暖化が私たちの生活にどのような影響を与えていると思いますか？あてはまるものをすべて選んでください。

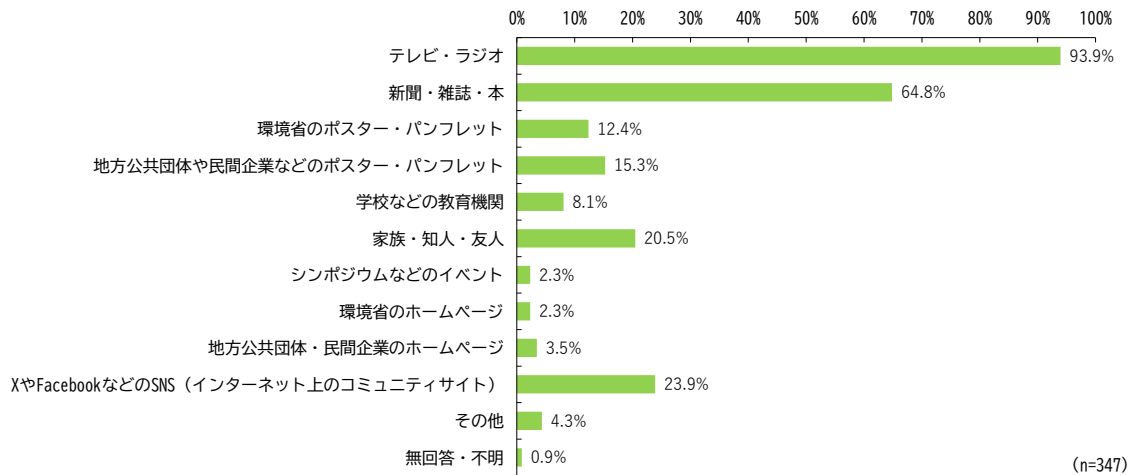
選択肢	回答数
気温上昇による熱中症や健康被害の増加	320
集中豪雨や台風など異常気象の増加	315
水産物や農産物への影響（漁獲量・収穫量の減少、農作物の品質の変化など）	313
生態系の変化（動植物の生息域の変化など）	253
海面上昇による浸水被害	249
特に影響はないと思う	1
その他	4
無回答・不明	1
回収数	347



地球温暖化による影響については「気温上昇による熱中症や健康被害の増加」が最も多く92.2%を占めており、次いで「集中豪雨や台風など異常気象の増加」が90.8%、「水産物や農産物への影響（漁獲量・収穫量の減少、農作物の品質の変化など）」が90.2%となっている。身近に起こっている影響については、多種多様な危機感を感じていると言える。

問6. あなたは、地球温暖化に関する情報を主にどこで知りますか？あてはまるものを3つ選んでください。

選択肢	回答数
テレビ・ラジオ	326
新聞・雑誌・本	225
環境省のポスター・パンフレット	43
地方公共団体や民間企業などのポスター・パンフレット	53
学校などの教育機関	28
家族・知人・友人	71
シンポジウムなどのイベント	8
環境省のホームページ	8
地方公共団体・民間企業のホームページ	12
XやFacebookなどのSNS（インターネット上のコミュニティサイト）	83
その他	15
無回答・不明	3
回収数	347

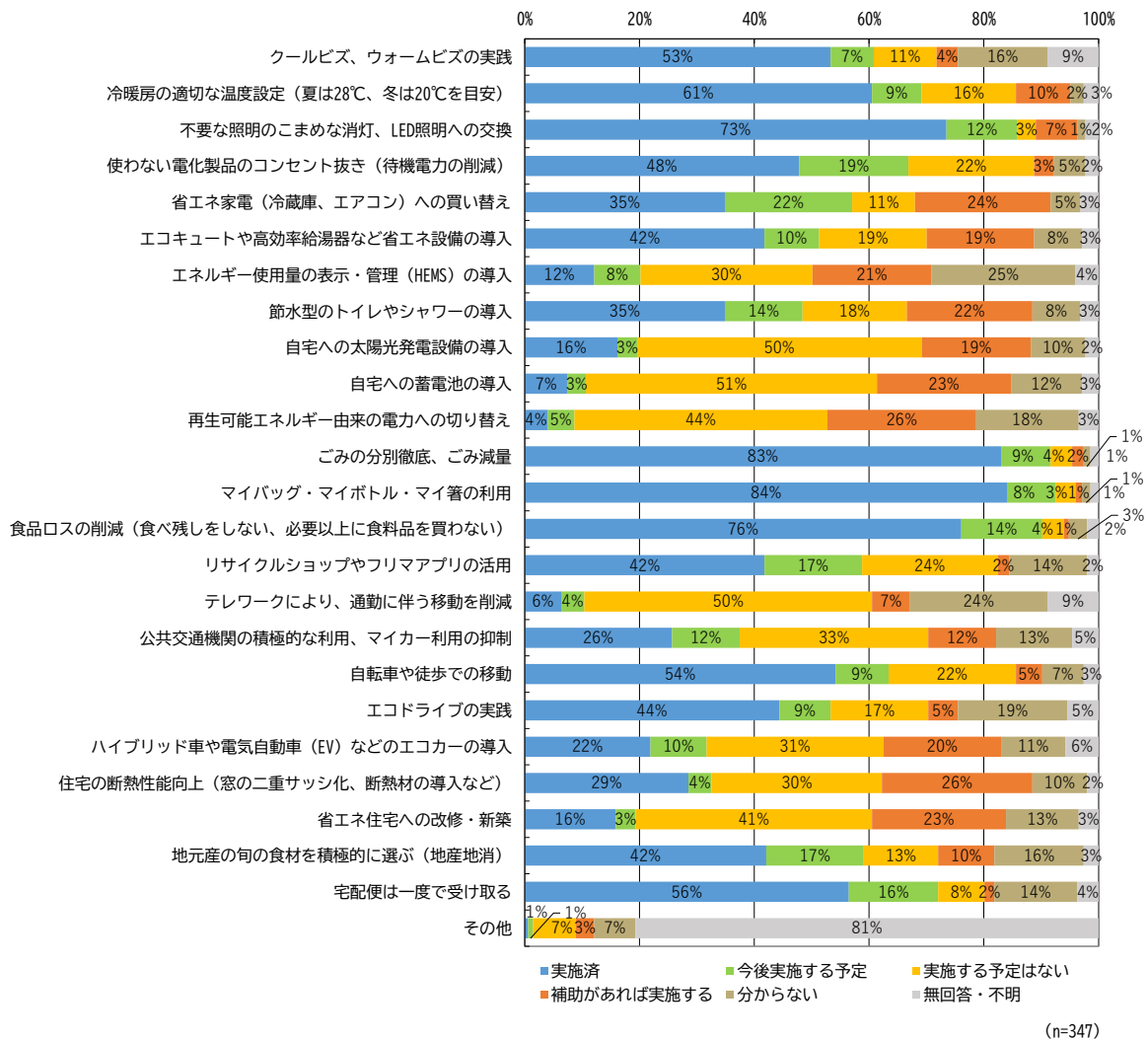


地球温暖化に関する情報を知る媒体については「テレビ・ラジオ」が最も多く93.9%を占めており、次いで「新聞・雑誌・本」が64.8%となっている。一方、イベントや町のホームページ等で情報を入手する方法は少ないと言える。

3. 日常生活での取組状況

問7. あなたの日常生活で、地球温暖化対策として取り組んでいることはありますか？各項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

項 目		回答数						
		実施済	今後実施する予定	実施する予定はない	補助があれば実施する	分からない	無回答・不明	回答計
省エネ行動	クールビズ、ウォームビズの実践	185	26	38	13	54	31	347
	冷暖房の適切な温度設定（夏は28℃、冬は20℃を目安）	210	30	57	33	8	9	347
	不要な照明のこまめな消灯、LED照明への交換	255	43	11	25	5	8	347
	使わない電化製品のコンセント抜き（待機電力の削減）	166	66	76	12	19	8	347
	省エネ家電（冷蔵庫、エアコン）への買い替え	121	77	38	82	18	11	347
	エコキュートや高効率給湯器など省エネ設備の導入	145	33	65	65	29	10	347
	エネルギー使用量の表示・管理（HEMS）の導入	42	28	104	72	87	14	347
	節水型のトイレやシャワーの導入	121	47	63	76	29	11	347
再生可能エネルギー	自宅への太陽光発電設備の導入	56	12	172	66	33	8	347
	自宅への蓄電池の導入	26	11	176	81	43	10	347
	再生可能エネルギー由来の電力への切り替え	14	16	153	90	62	12	347
ごみ削減・リサイクル	ごみの分別徹底、ごみ減量	288	30	13	7	4	5	347
	マイバッグ・マイボトル・マイ箸の利用	292	29	12	4	5	5	347
	食品ロスの削減（食べ残しをしない、必要以上に食料品を買わない）	264	49	13	3	11	7	347
	リサイクルショップやフリマアプリの活用	145	59	82	7	47	7	347
移動	テレワークにより、通勤に伴う移動を削減	22	14	174	23	83	31	347
	公共交通機関の積極的な利用、マイカー利用の抑制	89	41	114	41	46	16	347
	自転車や徒歩での移動	188	32	77	16	25	9	347
	エコドライブの実践	154	31	59	18	66	19	347
	ハイブリッド車や電気自動車（EV）などのエコカーの導入	76	34	107	71	39	20	347
住まい	住宅の断熱性能向上（窓の二重サッシ化、断熱材の導入など）	99	14	103	91	33	7	347
	省エネ住宅への改修・新築	55	12	143	81	44	12	347
その他	地元産の旬の食材を積極的に選ぶ（地産地消）	146	59	45	34	54	9	347
	宅配便は一度で受け取る	196	54	28	6	50	13	347
	その他	2	3	26	11	25	280	347
合計		3,357	850	1949	1028	919	572	347

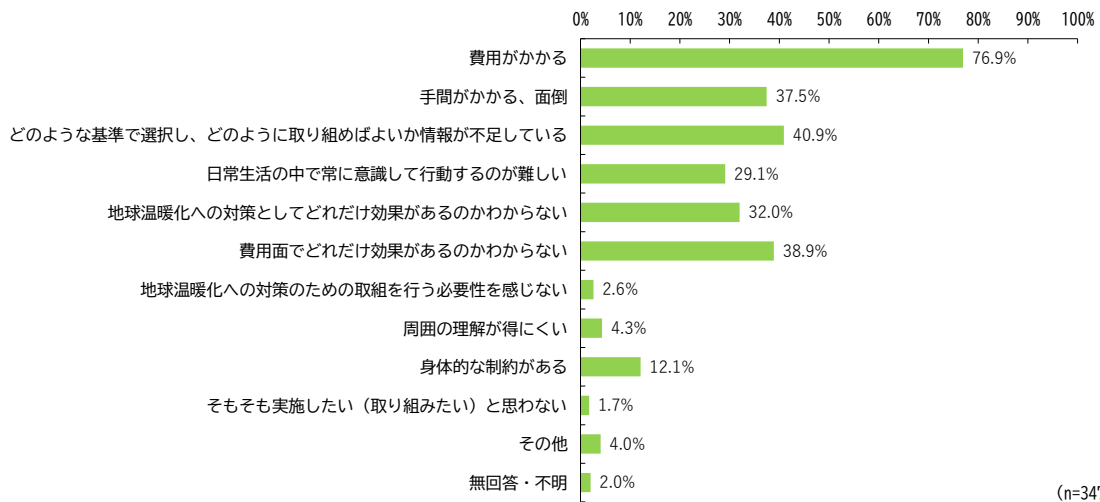


地球温暖化対策に関する現在の取組状況については、実施済の内容として「マイバッグ・マイボトル・マイ箸の利用」が最も多く、今後実施する予定の内容としては「省エネ家電（冷蔵庫、エアコン）への買い替え」、実施する予定はない内容としては「自宅への蓄電池の導入」、補助があれば実施する内容としては「再生可能エネルギー由来の電力への切り替え」「住宅の断熱性能向上（窓の二重サッシ化、断熱材の導入など）」が最も多い割合となっている。

身近で手軽にできることについては取組が進んでいるものの、費用が高額になるほど取組が進んでいないことから、情報提供を行うとともに公的支援を行う必要がある。

問8. 問7での行動を実行する上で、特に課題だと感じることは何ですか？あてはまるものを3つ選んでください。

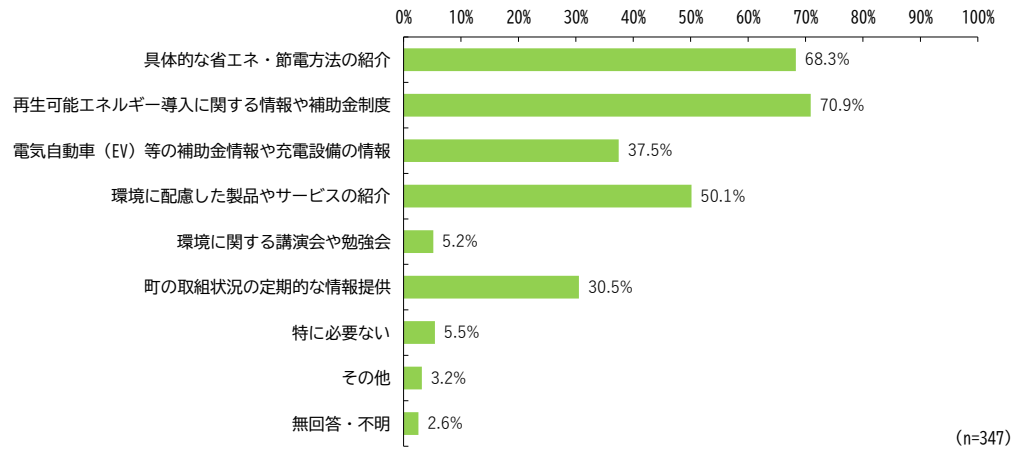
選択肢	回答数
費用がかかる	267
手間がかかる、面倒	130
どのような基準で選択し、どのように取り組めばよいかが情報が不足している	142
日常生活の中で常に意識して行動するのが難しい	101
地球温暖化への対策としてどれだけ効果があるのかわからない	111
費用面でどれだけ効果があるのかわからない	135
地球温暖化への対策のための取組を行う必要性を感じない	9
周囲の理解が得にくい	15
身体的な制約がある	42
そもそも実施したい（取り組みたい）と思わない	6
その他	14
無回答・不明	7
回収数	347



地球温暖化対策を実行する上での課題については「費用がかかる」が76.9%と最も多く、次いで「どのような基準で選択し、どのように取り組めばよいかが情報が不足している」が40.9%となっている。今後は、補助金制度の充実や周知徹底など、個人のライフスタイルに合わせた効果的な対策をわかりやすく解説する仕組み作りなどが必要である。

問9. 地球温暖化対策を進める上で、どのような情報や支援があれば取り組みやすくなりますか？あてはまるものを3つ選んでください。

選択肢	回答数
具体的な省エネ・節電方法の紹介	237
再生可能エネルギー導入に関する情報や補助金制度	246
電気自動車（EV）等の補助金情報や充電設備の情報	130
環境に配慮した製品やサービスの紹介	174
環境に関する講演会や勉強会	18
町の実組状況の定期的な情報提供	106
特に必要ない	19
その他	11
無回答・不明	9
回収数	347

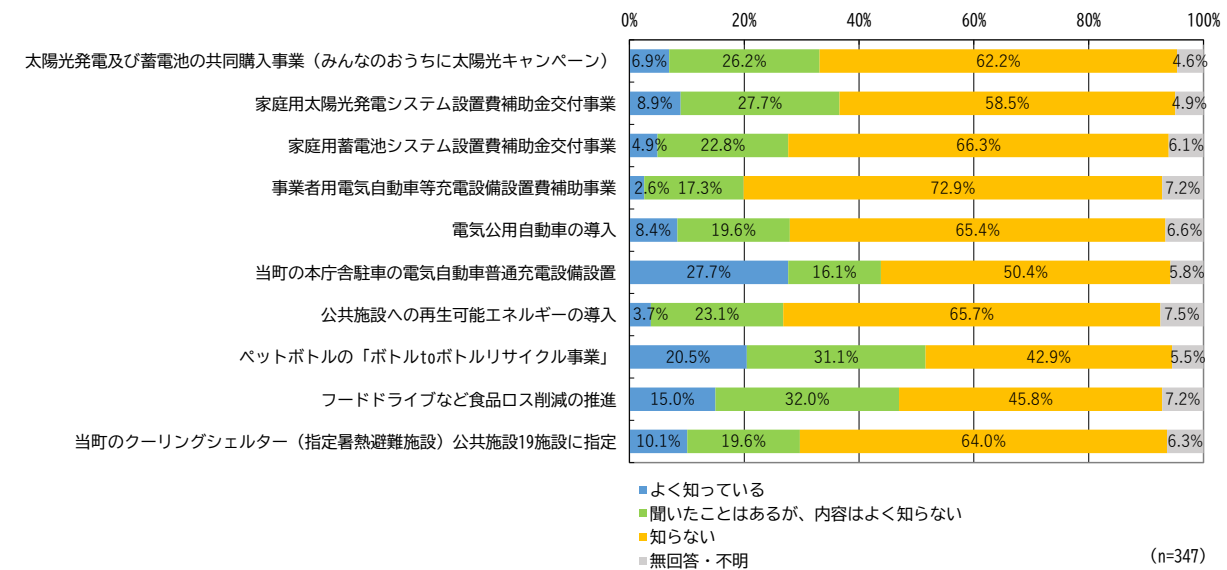


地球温暖化対策に取り組む上での必要な情報や支援については「再生可能エネルギー導入に関する情報や補助金制度」が最も多く70.9%となっており、次いで「具体的な省エネ・節電方法の紹介」が68.3%となっている。今後は、補助金制度の充実や周知徹底など、個人のライフスタイルに合わせた効果的な対策をわかりやすく解説する仕組み作りなどが必要である。

4. 播磨町のカーボンニュートラルへの取り組みの期待について

問10. 播磨町が行っている取組を知っていますか？各項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

項 目	回答数				
	よく知っている	聞いたことはあるが、内容はよく知らない	知らない	無回答・不明	回答計
太陽光発電及び蓄電池の共同購入事業（みんなのうちに太陽光キャンペーン）	24	91	216	16	347
家庭用太陽光発電システム設置費補助金交付事業	31	96	203	17	347
家庭用蓄電池システム設置費補助金交付事業	17	79	230	21	347
事業者用電気自動車等充電設備設置費補助事業	9	60	253	25	347
電気公用自動車の導入	29	68	227	23	347
当町の本庁舎駐車場の電気自動車普通充電設備設置	96	56	175	20	347
公共施設への再生可能エネルギーの導入	13	80	228	26	347
ペットボトルの「ボトルtoボトルリサイクル事業」	71	108	149	19	347
フードドライブなど食品ロス削減の推進	52	111	159	25	347
当町のクーリングシエルト（指定暑熱避難施設）公共施設19施設に指定	35	68	222	22	347
合計	377	817	2062	214	347

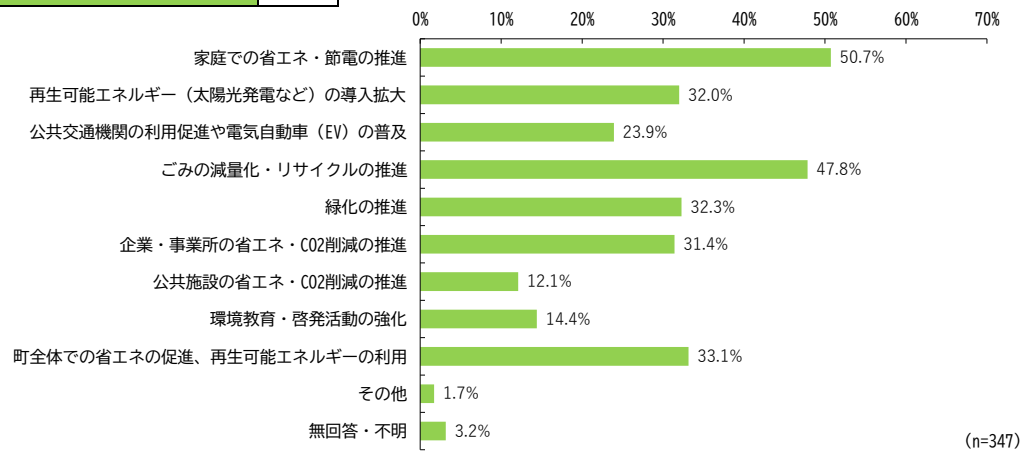


播磨町が行っているカーボンニュートラルの取組に対する認知度については、よく知っている内容として「当町の本庁舎駐車場の電気自動車普通充電設備設置」が最も多く、聞いたことはあるが内容はよく知らない内容としては「フードドライブなど食品ロス削減の推進」、知らない内容としては「事業者用電気自動車等充電設備設置費補助事業」が最も多い割合となっている。

全体的に知らないと回答した割合が5割以上を占めているため、町のカーボンニュートラル達成を後押しするためには、情報提供等の方法を見直しする必要がある。

問11. 播磨町がカーボンニュートラルを達成するために、特に力を入れるべきだと思う分野は何ですか？あてはまるものを3つ選んでください。

選択肢	回答数
家庭での省エネ・節電の推進	176
再生可能エネルギー（太陽光発電など）の導入拡大	111
公共交通機関の利用促進や電気自動車（EV）の普及	83
ごみの減量化・リサイクルの推進	166
緑化の推進	112
企業・事業所の省エネ・CO2削減の推進	109
公共施設の省エネ・CO2削減の推進	42
環境教育・啓発活動の強化	50
町全体での省エネの促進、再生可能エネルギーの利用	115
その他	6
無回答・不明	11
回収数	347



播磨町がカーボンニュートラル達成のために特に力を入れるべき分野については「家庭での省エネ・節電の推進」が最も多く50.7%となっており、次いで「ごみの減量化・リサイクルの推進」が47.8%、「町全体での省エネの促進、再生可能エネルギーの利用」が33.1%となっている。今後は、「市民の行動変容を促すこと」と「地域全体としての包括的な対策」の両面から、カーボンニュートラル達成に向けた戦略を構築する必要がある。

5. 播磨町へのご要望・ご意見について

問12. 播磨町が地球温暖化対策やカーボンニュートラルを推進するにあたり、町に期待することやご要望、ご意見があれば自由にご記入ください。

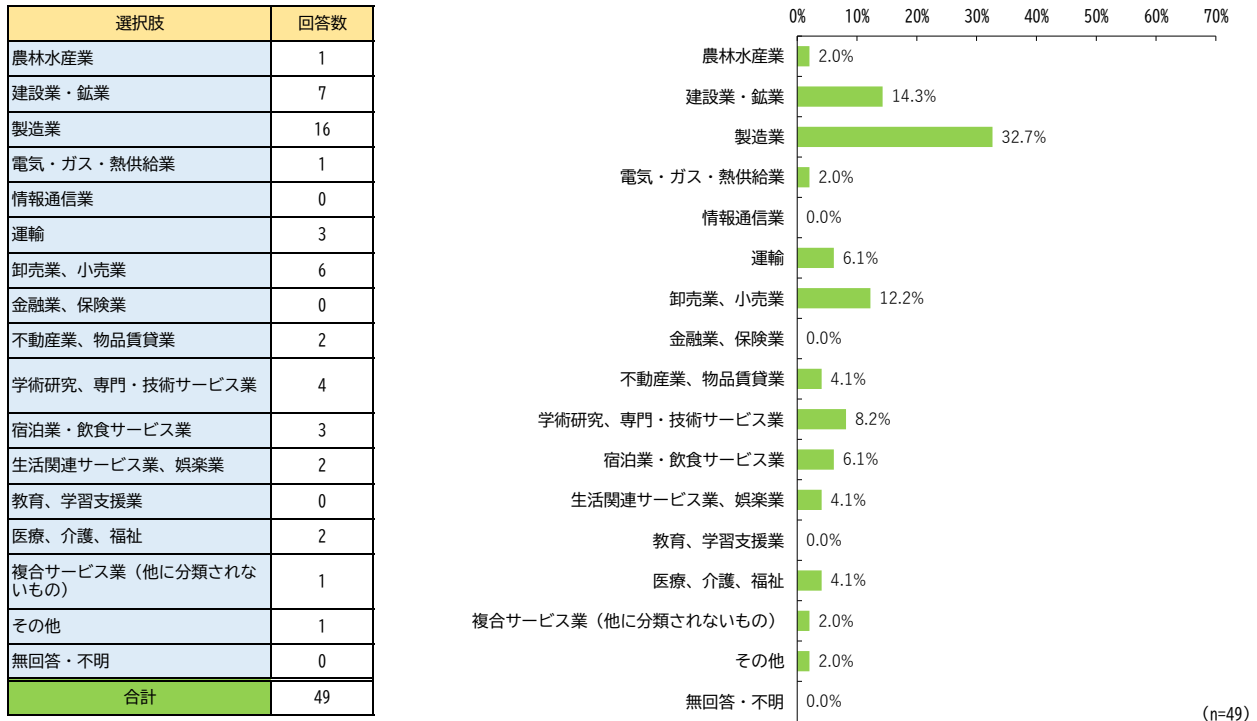
別紙参照。

地球温暖化防止に関するアンケート結果【事業者】

【対象】 播磨町内に事業所を有する 100社（無作為抽出）
 【調査方法】 郵送方式（料金受取人払いの返信用封筒を添えて郵送）またはWEB回答
 【調査期間】 2025年7月28日（月）～8月22日（金）
 【回収状況】 配布：100通 有効回収票：49通（紙：34通、WEB：15通） ⇒ 有効回収率：49%

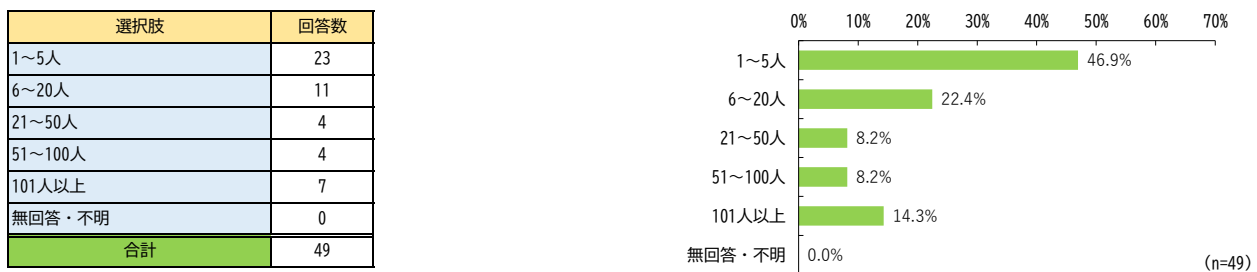
1. 貴事業所の基本情報について

問1. 貴事業所の主な業種について、あてはまるものを1つ選んでください。



事業所の業種は「製造業」が最も多く32.7%、次いで「建設業・鉱業」が14.3%となっている。

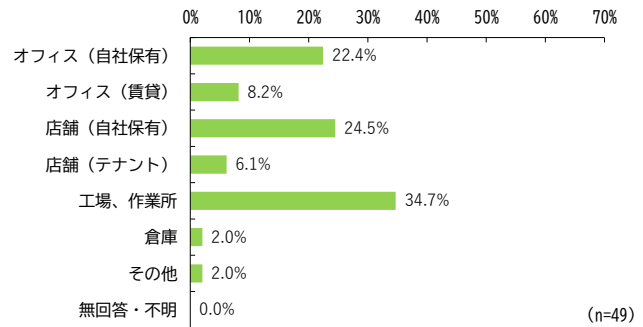
問2. 貴事業所の従業員数について、あてはまるものを1つ選んでください。



事業所の従業員数は「1～5人」が最も多く46.9%で、次いで「6～20人」が22.4%となっている。

問3. 貴事業所の形態について、あてはまるものを1つ選んでください。

選択肢	回答数
オフィス（自社保有）	11
オフィス（賃貸）	4
店舗（自社保有）	12
店舗（テナント）	3
工場、作業所	17
倉庫	1
その他	1
無回答・不明	0
合計	49

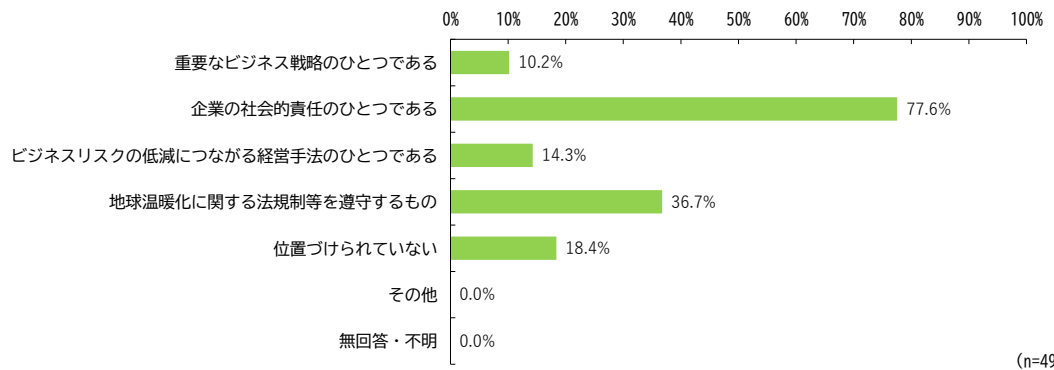


事業所の形態は「工場、作業所」が最も多く34.7%で、次いで「店舗（自社保有）」が24.5%となっている。

2.地球温暖化対策への取り組み状況について

問4. 貴事業所では、地球温暖化対策の経営取組をどのように位置づけていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

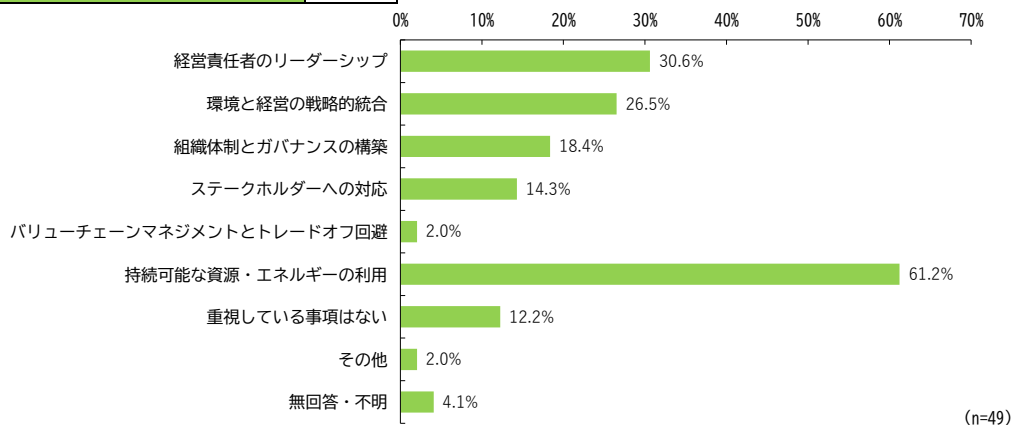
選択肢	回答数
重要なビジネス戦略のひとつである	5
企業の社会的責任のひとつである	38
ビジネスリスクの低減につながる経営手法のひとつである	7
地球温暖化に関する法規制等を遵守するもの	18
位置づけられていない	9
その他	0
無回答・不明	0
回収数	49



地球温暖化対策の経営取組の位置づけについては「企業の社会的責任のひとつである」が最も多く77.6%となっている。次いで「地球温暖化に関する法規制等を遵守するもの」が36.7%となっている。
多くの企業が社会的責任の一部として捉えているのに対して、本町が脱炭素社会を構築するためには、今後は脱炭素経営・戦略として事業者全体として取り組んでいく必要がある。

問5. 貴事業所では、地球温暖化対策に関する経営を実践していく上で重視する事項は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

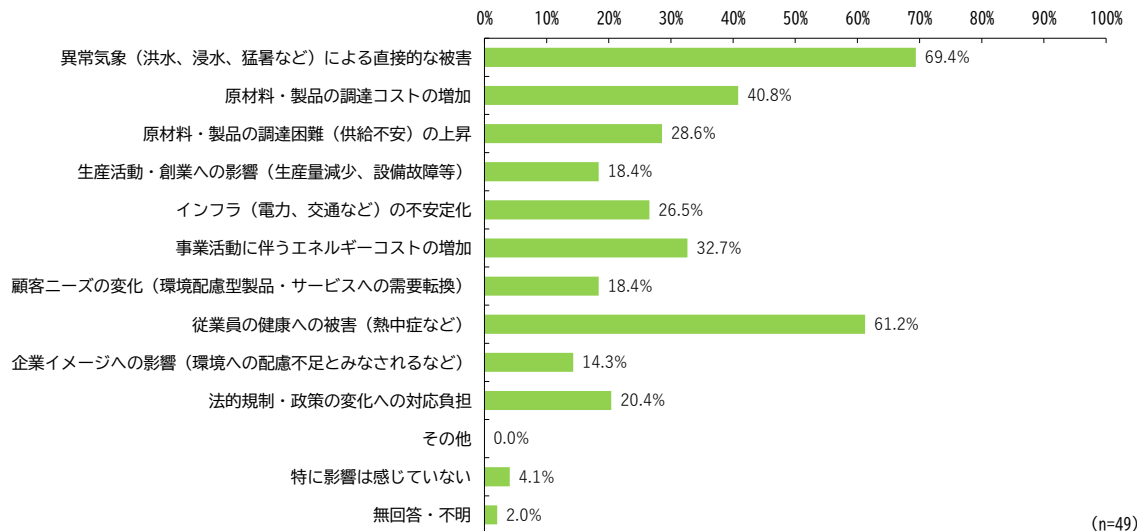
選択肢	回答数
経営責任者のリーダーシップ	15
環境と経営の戦略的統合	13
組織体制とガバナンスの構築	9
ステークホルダーへの対応	7
バリューチェーンマネジメントとトレードオフ回避	1
持続可能な資源・エネルギーの利用	30
重視している事項はない	6
その他	1
無回答・不明	2
回収数	49



地球温暖化対策に関する経営を実践していく上で重視する事項については「持続可能な資源・エネルギーの利用」が最も多く61.2%となっており、次いで「経営責任者のリーダーシップ」が30.6%となっている。
企業が地球温暖化対策の具体的な行動として、事業活動の根幹に関わる資源やエネルギーについて最も重要視していることがうかがえる。

問6. 貴事業所では、地球温暖化による影響をどのように感じていますか？あてはまるものをすべて選んでください。

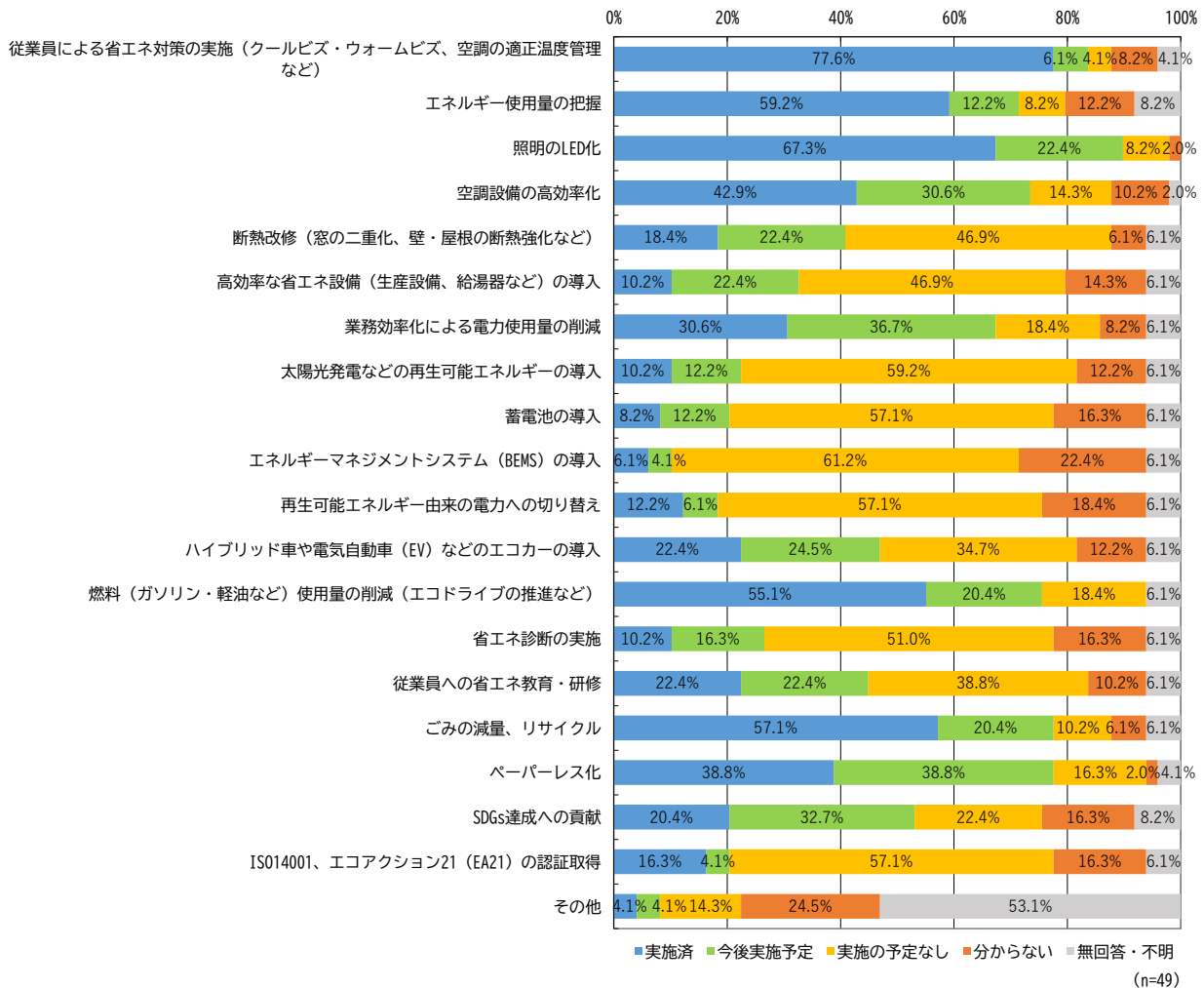
選択肢	回答数
異常気象（洪水、浸水、猛暑など）による直接的な被害	34
原材料・製品の調達コストの増加	20
原材料・製品の調達困難（供給不安）の上昇	14
生産活動・創業への影響（生産量減少、設備故障等）	9
インフラ（電力、交通など）の不安定化	13
事業活動に伴うエネルギーコストの増加	16
顧客ニーズの変化（環境配慮型製品・サービスへの需要転換）	9
従業員の健康への被害（熱中症など）	30
企業イメージへの影響（環境への配慮不足とみなされるなど）	7
法的規制・政策の変化への対応負担	10
その他	0
特に影響は感じていない	2
無回答・不明	1
回収数	49



地球温暖化による影響については「異常気象（洪水、浸水、猛暑など）による直接的な被害」が最も多く69.4%を占めており、次いで「従業員の健康への被害（熱中症など）」が61.2%となっている。
企業は地球温暖化の影響を、事業継続に関わる重要なリスクと人的リスクの両面から認識しており、それぞれに対する対策が喫緊の経営課題となっていることがうかがえる。

問7. 現在、貴事業所では、どのような地球温暖化対策に取り組んでいますか？各項目ごとにあてはまるものを1つ選んでください。

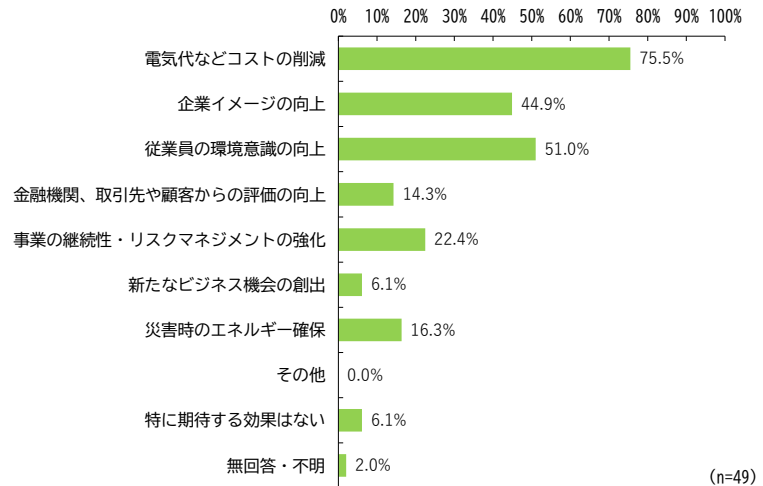
項 目	回答数					
	実施済	今後 実施予定	実施の予 定なし	分から ない	無回答 ・不明	回答計
従業員による省エネ対策の実施（クールビズ・ウォームビズ、空調の適正温度管理など）	38	3	2	4	2	49
エネルギー使用量の把握	29	6	4	6	4	49
照明のLED化	33	11	4	1	0	49
空調設備の高効率化	21	15	7	5	1	49
断熱改修（窓の二重化、壁・屋根の断熱強化など）	9	11	23	3	3	49
高効率な省エネ設備（生産設備、給湯器など）の導入	5	11	23	7	3	49
業務効率化による電力使用量の削減	15	18	9	4	3	49
太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入	5	6	29	6	3	49
蓄電池の導入	4	6	28	8	3	49
エネルギーマネジメントシステム（BEMS）の導入	3	2	30	11	3	49
再生可能エネルギー由来の電力への切り替え	6	3	28	9	3	49
ハイブリッド車や電気自動車（EV）などのエコカーの導入	11	12	17	6	3	49
燃料（ガソリン・軽油など）使用量の削減（エコドライブの推進など）	27	10	9	0	3	49
省エネ診断の実施	5	8	25	8	3	49
従業員への省エネ教育・研修	11	11	19	5	3	49
ごみの減量、リサイクル	28	10	5	3	3	49
ペーパーレス化	19	19	8	1	2	49
SDGs達成への貢献	10	16	11	8	4	49
ISO14001、エコアクション21（EA21）の認証取得	8	2	28	8	3	49
その他	2	2	7	12	26	49
合計	289	182	316	115	78	49



現在取り組んでいる地球温暖化対策については「従業員による省エネ対策の実施（クールビズ・ウォームビズ、空調の適正温度管理など）」が最も多く、今後実施予定の内容としては「ペーパーレス化」、実施の予定なしの内容としては「エネルギーマネジメントシステム（BEMS）の導入」が最も多い割合となっている。
実施の予定なしの項目については、費用がかかる取組が多いことから、町のカーボンニュートラルを進めるためにも支援策の必要性がある。

問8. 地球温暖化対策に取り組むことで、どのような効果を期待していますか？あてはまるものを3つ選んでください。

選択肢	回答数
電気代などコストの削減	37
企業イメージの向上	22
従業員の環境意識の向上	25
金融機関、取引先や顧客からの評価の向上	7
事業の継続性・リスクマネジメントの強化	11
新たなビジネス機会の創出	3
災害時のエネルギー確保	8
その他	0
特に期待する効果はない	3
無回答・不明	1
回収数	49

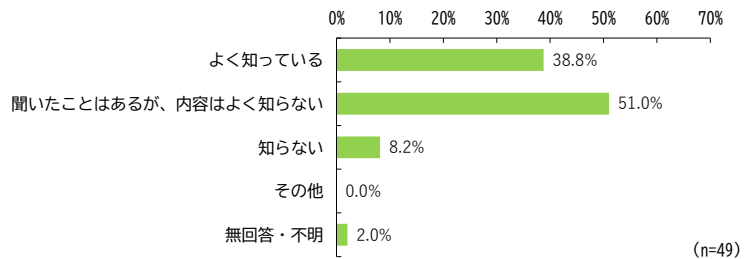


地球温暖化対策に期待する効果については「電気代などコストの削減」が75.5%と最も多く、次いで「従業員の環境意識の向上」が51.0%となっている。企業の持続的な成長には、経済的側面だけでなく、人的資本の充実が不可欠であるという認識をもっている様子がうかがえる。

3. 2050年カーボンニュートラルへの認識と課題について

問9. 「2050年カーボンニュートラル」という目標をご存じですか？(温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする目標です) 1つ選んでください。

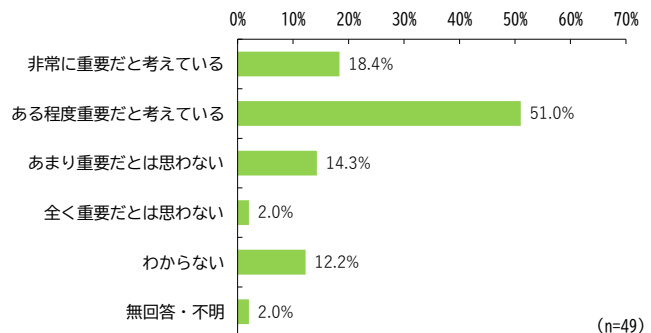
選択肢	回答数
よく知っている	19
聞いたことはあるが、内容はよく知らない	25
知らない	4
その他	0
無回答・不明	1
合計	49



「2050年カーボンニュートラル」への認知度については「聞いたことはあるが、内容はよく知らない」が51.0%と最も多く、次いで「よく知っている」が38.8%となっており、宣言自体は全体の約90%に認知されている状況である。

問10. 貴事業所にとって、2050年カーボンニュートラルの達成は、どのような意味を持つと思いますか？あてはまるものを1つ選んでください。

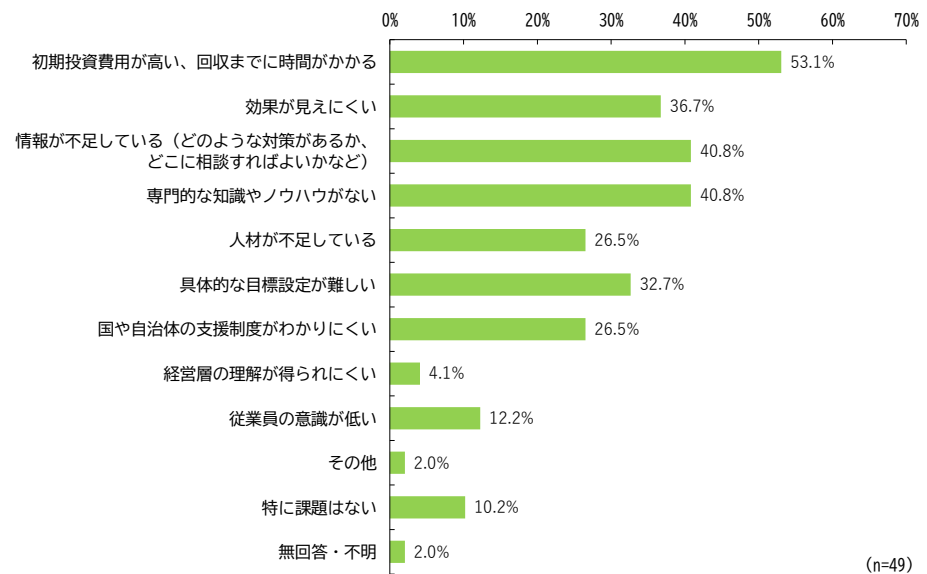
選択肢	回答数
非常に重要だと考えている	9
ある程度重要だと考えている	25
あまり重要だとは思わない	7
全く重要だとは思わない	1
わからない	6
無回答・不明	1
合計	49



「2050年カーボンニュートラル」達成の重要度については「ある程度重要だと考えている」が最も多く51.0%、次いで「非常に重要だと考えている」が18.4%となっている。一方、「あまり重要だとは思わない」、「わからない」といった回答も約27%となっていることから、重要性の認識を理解促進させる必要がある。

問11. 貴事業所が地球温暖化対策やカーボンニュートラルに取り組む上での課題は何ですか？あてはまるものをすべて選んでください。

選択肢	回答数
初期投資費用が高い、回収までに時間がかかる	26
効果が見えにくい	18
情報が不足している（どのような対策があるか、どこに相談すればよいかなど）	20
専門的な知識やノウハウがない	20
人材が不足している	13
具体的な目標設定が難しい	16
国や自治体の支援制度がわかりにくい	13
経営層の理解が得られにくい	2
従業員の意識が低い	6
その他	1
特に課題はない	5
無回答・不明	1
回収数	49

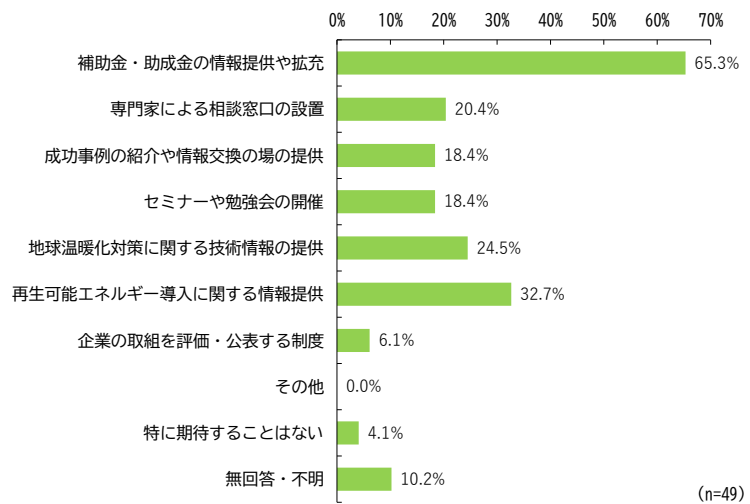


地球温暖化対策やカーボンニュートラルに取り組む上での課題については「初期投資費用が高い、回収までに時間がかかる」が最も多く53.1%となっており、次いで「情報が不足している（どのような対策があるか、どこに相談すればよいかなど）」「専門的な知識やノウハウがない」が40.8%となっている。多くの企業が地球温暖化対策の重要性を認識しているものの、具体的な行動に移すための経済的・知識的な障壁に直面している様子がうかがえる。今後は、公的な支援と、専門家や情報提供者との連携が必要である。

4. 播磨町への期待について

問12. 播磨町に、地球温暖化対策やカーボンニュートラル推進のために、どのような支援や情報提供を期待しますか？あてはまるものをすべて選んでください。

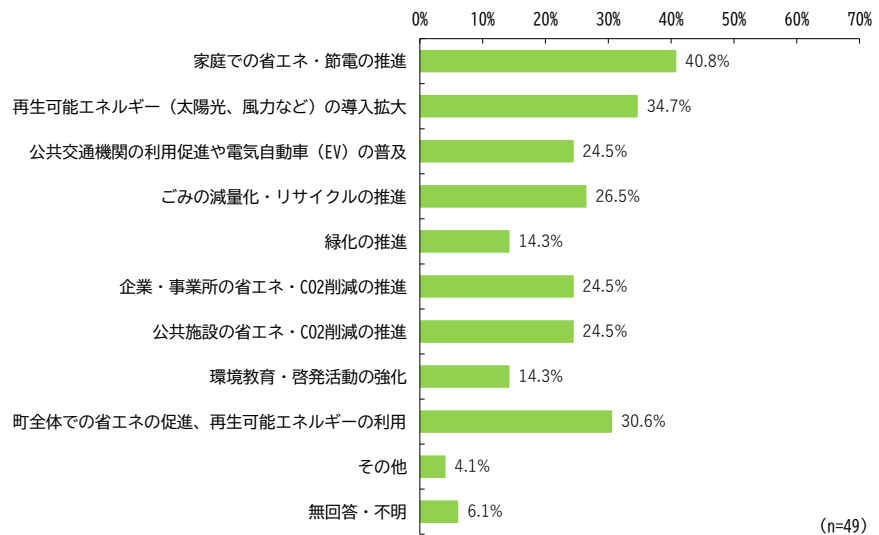
選択肢	回答数
補助金・助成金の情報提供や拡充	32
専門家による相談窓口の設置	10
成功事例の紹介や情報交換の場の提供	9
セミナーや勉強会の開催	9
地球温暖化対策に関する技術情報の提供	12
再生可能エネルギー導入に関する情報提供	16
企業の取組を評価・公表する制度	3
その他	0
特に期待することはない	2
無回答・不明	5
回収数	49



地球温暖化対策やカーボンニュートラル推進のために播磨町に期待する支援や情報提供については「補助金・助成金の情報提供や拡充」が最も多く65.3%となっており、次いで「再生可能エネルギー導入に関する情報提供」が32.7%となっている。
企業の脱炭素化を促進する上で、財政的・情動的支援の両面で積極的に役割を果たすことが求められている。

問13. 播磨町がカーボンニュートラルを達成するために、特に力を入れるべきだと思う分野は何ですか？あてはまるものをすべて選んでください。

選択肢	回答数
家庭での省エネ・節電の推進	20
再生可能エネルギー（太陽光、風力など）の導入拡大	17
公共交通機関の利用促進や電気自動車（EV）の普及	12
ごみの減量化・リサイクルの推進	13
緑化の推進	7
企業・事業所の省エネ・CO2削減の推進	12
公共施設の省エネ・CO2削減の推進	12
環境教育・啓発活動の強化	7
町全体での省エネの促進、再生可能エネルギーの利用	15
その他	2
無回答・不明	3
回収数	49



播磨町がカーボンニュートラル達成のために特に力を入れるべき分野については「家庭での省エネ・節電の推進」が最も多く40.8%となっており、次いで「再生可能エネルギー（太陽光、風力など）の導入拡大」が34.7%、「町全体での省エネの促進、再生可能エネルギーの利用」が30.6%となっている。今後は、「市民の行動変容を促すこと」と「地域全体としての包括的な対策」の両面から、カーボンニュートラル達成に向けた戦略を構築する必要がある。

5. 地球温暖化対策やカーボンニュートラルに関するご意見・ご提案

問14. 地球温暖化対策やカーボンニュートラルに関して、播磨町において事業者として、何かご意見・ご提案があればご自由にご入力ください。

別紙参照。